

笑顔いっぱい 阿村っ子



上天草市立阿村小学校
学校だより
第18号
R1.12.16(月)
文責 坂本和子

持久走大会に向けて

しばらく前になりますが・・・11月18日（月）に、持久走大会の練習開始前の全校集会をしました。

持久走大会は、子供たちが多くのことを学ぶ、とても大切な行事です。まず、持久力を養うこと。そして、目標に向かって努力する心、きつくてもへこたれない、たくましい心。全員が望みどおりの結果を得られる訳ではありませんが、目標達成に向けた努力の過程で得るものは本当に大きいと思います。そのことを子供たち自身が分かった上で、持久走大会の練習に取り組み、心も体も鍛えてほしいと思ったのでした。

集会前に尋ねたことは、昨年と同じです。しかし、今年は、さらに力いっぱい取り組んでほしくて、次のように尋ねました。

持久走は [] どの戦い(競走)です。
力いっぱい 自分と戦い、友達と競う

自分	友だち
<p>心(気持ち)</p> <ul style="list-style-type: none"> きついイヤ 走りたくない あきらめる 心が折れる 	<p>友だちライバル</p> <ul style="list-style-type: none"> みんな 全員 越されたくない 順位(去年の) 競うと記録がつく
<p>体力</p> <ul style="list-style-type: none"> 速く走る スタミナをつける 体力をつける 元気いっぱい 	
<p>記録</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の目標(タイム) 自己ベストに向かう 去年のタイム 	

切磋琢磨
 同じことを志す者どうしが、たがいにほげほ競い合って向上しつづけること。

努力感動

心身(こんしん)の健康
 初志貫徹の意志
 忍耐力の継続
 日本マラソンの父 金栗四三

きついや 走りたくない あきらめる 心が折れる
きつさに耐える 最後まで走る あきらめない 続ける心 強い心 負けない

ゆくり走ってゴールしても、ゴールの達成感(は)得られない。(完結しない)
みんな全力、自分だけ全力で走らないのはため、(個人)
本番も練習の全力が大事、全力で走ります。(登生さん)

最後まで走ることが大切だから、ゆっくり走ってもいいんだよね？

6年生のペアは次のような意見を発表してくれました。

ゆっくり走っても、ゴール後の達成感(は)得られない。(6年 さん)
みんな全力。自分だけ全力でないのはだめ。(6年 さん)

最後に「切磋琢磨」という言葉と、金栗四三の「マラソンにおいて大切なことは『体力、気力、努力』である。」という言葉を紹介し、「力いっぱい自分と戦い、友達と競う」ことの大切さを確認しました。

最後の様子・・・

朝ランも体育委員会のリードにより持久走大会仕様になっています。残り1分の笛で、全力走です。朝ランの次のラジオ体操は呼吸を整える必要があるくらい、全力で走っています。

「全力で走る。」「○○くんに勝ちたい。」「○○さんのように速く走れるようになりたい。」「足は痛くても、途中でやめるのは嫌だ。」「1位になりたいから練習する。」子供たちから聞こえてくる声が嬉しいです。全力で勝負して、勝ったり負けたりしてほしいと思います。持久走大会は、走るのが得意な子も苦手な子も、全ての子供をうんと成長させる大事な行事です。

裏面もあります。



最後に「切磋琢磨」という言葉と、金栗四三の「マラソンにおいて大切なことは『体力、気力、努力』である。」という言葉を紹介し、「力いっぱい自分と戦い、友達と競う」ことの大切さを確認しました。

最後に「切磋琢磨」という言葉と、金栗四三の「マラソンにおいて大切なことは『体力、気力、努力』である。」という言葉を紹介し、「力いっぱい自分と戦い、友達と競う」ことの大切さを確認しました。



最後に「切磋琢磨」という言葉と、金栗四三の「マラソンにおいて大切なことは『体力、気力、努力』である。」という言葉を紹介し、「力いっぱい自分と戦い、友達と競う」ことの大切さを確認しました。



練習も本番も、全力が大事。全力で走ります。(6年 さん)

えいえいおー！持久走まつり

1年生の隼平さんの提案によるもので、1年生みんなで準備したそうです。昼休みにあり、「校長先生も来て！」と誘ってもらいました。1分、50秒、30秒でトラック1周できるか、という競技で、私はもちろん計時係をお願いしました。9人の1年生と担任の福山先生が全力で走りました。1年生が持久走まつりを計画し運営したこと（プログラムも作ってありました！）に驚き、その全力の走りっぷりに驚き、嬉しさいっぱい笑顔いっぱいでした。



「全力で走る。」「○○くんに勝ちたい。」「○○さんのように速く走れるようになりたい。」「足は痛くても、途中でやめるのは嫌だ。」「1位になりたいから練習する。」子供たちから聞こえてくる声が嬉しいです。全力で勝負して、勝ったり負けたりしてほしいと思います。持久走大会は、走るのが得意な子も苦手な子も、全ての子供をうんと成長させる大事な行事です。

裏面もあります。